

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第8期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社グリムス
【英訳名】	gremz, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 政臣
【本店の所在の場所】	東京都品川区東品川二丁目2番4号 天王洲ファーストタワー19階
【電話番号】	(03) 5769-3500
【事務連絡者氏名】	専務取締役 小野 裕章
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東品川二丁目2番4号 天王洲ファーストタワー19階
【電話番号】	(03) 5769-3500
【事務連絡者氏名】	専務取締役 小野 裕章
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第7期 第3四半期連結 累計期間	第8期 第3四半期連結 累計期間	第7期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	3,159,413	3,855,439	4,365,835
経常利益(千円)	217,828	26,272	300,546
四半期(当期)純利益又は純損失()(千円)	75,183	34,490	86,805
四半期包括利益又は包括利益(千円)	70,183	36,834	81,805
純資産額(千円)	1,256,228	1,173,718	1,270,130
総資産額(千円)	2,407,582	2,355,764	2,564,960
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は 四半期純損失金額()(円)	44.45	20.15	51.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	43.01	-	49.69
自己資本比率(%)	52.2	49.5	49.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	194,469	121,902	263,154
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	269,729	182,135	494,918
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	559,661	128,750	608,614
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	1,242,447	945,911	1,134,895

回次	第7期 第3四半期連結 会計期間	第8期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純損失金額()(円)	12.55	2.61

- (注) 1. 第8期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社は、平成24年12月3日付で「株式会社GFライテック」を新たに設立し、LED照明の販売を行っております。なお、当第3四半期連結累計期間のセグメント情報においては、「その他」としております。

また、仕入の安定性確保と戦略的提携強化のため、株式会社ネオ・コーポレーションの株式を追加取得し、当社の持分法適用会社とすることといたしました。

これに伴い、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、子会社4社、及び関連会社1社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、弱い動きで推移しているものの、生産など一部に下げ止まりの兆しがみられました。ただし、世界景気の下振れが引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

このような経済状況の中、当社グループは、収益基盤の強化という2012中期経営計画の基本方針に基づき、高成長途及事業であるグリーンハウスプロジェクト事業及びウォーターサーバー事業と、安定収益事業であるエネルギーコストソリューション事業をそれぞれ推進いたしました。また、株式会社エフティコミュニケーションズとの合併により12月3日付けで株式会社G F ライテックを設立し、LED照明の販売を進めてまいりました。

グリーンハウスプロジェクト事業は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度や補助金の交付等の政府主導の施策による市場拡大を見込み、太陽光発電システムの販売拡大を進めてまいりました。ウォーターサーバー事業は、サーバーのデザイン性向上や容器の利便性向上などによる、宅配水の個人向け需要の拡大により、積極的に販売拡大を進めてまいりました。エネルギーコストソリューション事業は、電力料金の削減といった潜在的なコスト削減ニーズに対応したコンサルティング営業や、代理店向けの販売を進めてまいりました。その他、株式会社G F ライテックにおいて、12月より本格的にLED照明の販売を開始しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,855百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業利益20百万円（前年同四半期比90.3%減）、経常利益26百万円（前年同四半期比87.9%減）、四半期純損失34百万円（前年同四半期は75百万円の利益）となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

〔グリーンハウスプロジェクト事業〕

株式会社グリムスソーラーは、住宅用太陽光発電システムの店舗販売を行うグリーンハウスプロジェクト事業を行っております。グリーンハウスプロジェクト事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において「京セラソーラーFC岐阜北」「京セラソーラーFC浜松志都呂」「京セラソーラーFC大津中央」を新規出店し、販売エリアを東日本中心から中部圏・近畿圏へ拡大しております。また催事場での顧客開拓を活用するなど積極的な営業展開を図り、売上高は2,194百万円（前年同四半期比48.1%増）、営業利益は170百万円（前年同四半期比204.4%増）となりました。

〔ウォーターサーバー事業〕

株式会社グリムスプレミアムウォーターは、ミネラルウォーターの宅配を行うウォーターサーバー事業を行っております。ウォーターサーバー事業につきましては、催事販売を中心とした営業展開を図り、販売エリアを拡大し、売上高は467百万円（前年同四半期比876.3%増）、営業損失は41百万円（前年同四半期は80百万円の損失）となりました。

〔エネルギーコストソリューション事業〕

株式会社GRコンサルティングは、電力基本料金削減コンサルティングを行うエネルギーコストソリューション事業を行っております。エネルギーコストソリューション事業につきましては、営業社員の育成が遅れたことにより受注は低調に推移し、売上高は1,188百万円（前年同四半期比27.1%減）、営業利益は200百万円（前年同四半期比63.4%減）となりました。

〔その他〕

株式会社G F ライテックは、LED照明の販売を行っております。12月より販売を開始し、売上高は4百万円、営業損失は6百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、期首残高より188百万円減少し、945百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は121百万円（前年同四半期は194百万円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費80百万円、未収消費税等の減少額70百万円、未払金の増加額54百万円、法人税等の還付額72百万円による資金の増加、及び、法人税等の支払額171百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は182百万円（前年同四半期は269百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出39百万円、有形固定資産の取得による支出153百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は128百万円（前年同四半期は559百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入200百万円による資金の増加、及び、短期借入金の減少額125百万円、長期借入金の返済による支出143百万円、配当金の支払額51百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	1,744,300	1,744,300	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定 のない当社における 標準の株式
計	1,744,300	1,744,300	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		1,744,300		387,305		126,293

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 26,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,717,100	17,171	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定 のない当社における 標準の株式
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	1,744,300		
総株主の議決権		17,171	

(注) 上記の「単元未満株式」には、当社所有の自己株式が88株含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社グリムス	東京都品川区東品川 二丁目2番4号	26,800		26,800	1.54
計		26,800		26,800	1.54

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下、「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,134,895	945,911
売掛金	422,550	391,040
商品	25,121	44,968
前払費用	42,332	52,346
未収還付法人税等	73,466	46,279
未収消費税等	73,832	3,715
繰延税金資産	23,327	18,040
その他	35,680	12,232
流動資産合計	1,831,207	1,514,534
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	95,757	108,040
車両運搬具(純額)	2,020	29,381
工具、器具及び備品(純額)	201,780	274,157
建設仮勘定	12,660	40
有形固定資産合計	312,219	411,619
無形固定資産		
のれん	141,216	119,016
ソフトウェア	90,427	72,732
無形固定資産合計	231,643	191,749
投資その他の資産		
投資有価証券	30,030	69,300
長期前払費用	2,228	5,596
敷金及び保証金	155,394	159,263
繰延税金資産	2,197	3,650
その他	40	50
投資その他の資産合計	189,890	237,859
固定資産合計	733,753	841,229
資産合計	2,564,960	2,355,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	268,781	283,869
短期借入金	125,000	-
1年内返済予定の長期借入金	176,160	264,560
未払金	160,386	224,029
未払法人税等	111,969	28,821
未払消費税等	57,188	10,479
預り金	17,224	11,004
その他	11,519	19,412
流動負債合計	928,229	842,177
固定負債		
長期借入金	348,940	317,320
資産除去債務	13,726	15,170
その他	3,933	7,377
固定負債合計	366,599	339,868
負債合計	1,294,829	1,182,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,065	387,305
資本剰余金	126,293	126,293
利益剰余金	792,052	697,997
自己株式	35,279	45,733
株主資本合計	1,270,130	1,165,862
少数株主持分	-	7,856
純資産合計	1,270,130	1,173,718
負債純資産合計	2,564,960	2,355,764

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	3,159,413	3,855,439
売上原価	1,410,545	2,010,497
売上総利益	1,748,867	1,844,941
販売費及び一般管理費	1,534,173	1,824,106
営業利益	214,694	20,835
営業外収益		
受取利息	520	407
受取手数料	1,490	2,325
解約手数料	824	2,821
受取保険金	-	866
還付加算金	-	3,982
その他	2,295	907
営業外収益合計	5,130	11,311
営業外費用		
支払利息	1,996	4,714
自己株式取得費用	-	1,061
その他	-	97
営業外費用合計	1,996	5,873
経常利益	217,828	26,272
特別損失		
固定資産除却損	-	2,166
事務所移転費用	-	15,179
特別損失合計	-	17,346
税金等調整前四半期純利益	217,828	8,926
法人税、住民税及び事業税	94,752	41,926
法人税等調整額	52,892	3,834
法人税等合計	147,645	45,760
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	70,183	36,834
少数株主損失()	5,000	2,343
四半期純利益又は四半期純損失()	75,183	34,490

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	70,183	36,834
四半期包括利益	70,183	36,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,183	34,490
少数株主に係る四半期包括利益	5,000	2,343

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	217,828	8,926
減価償却費	37,865	80,236
長期前払費用償却額	498	740
のれん償却額	1,233	22,200
受取利息	520	407
支払利息	1,996	4,714
自己株式取得費用	-	1,061
固定資産除却損	-	2,166
移転費用	-	15,179
売上債権の増減額(は増加)	12,739	31,510
たな卸資産の増減額(は増加)	26,789	19,846
営業保証金の増減額(は増加)	20,000	-
未収消費税等の増減額(は増加)	57,128	70,117
その他の流動資産の増減額(は増加)	6,055	19,540
仕入債務の増減額(は減少)	70,736	15,087
未払金の増減額(は減少)	21,869	54,031
未払消費税等の増減額(は減少)	42,236	46,708
その他の流動負債の増減額(は減少)	9,148	3,572
その他	2,518	2,763
小計	357,980	225,805
利息の受取額	209	98
利息の支払額	2,985	4,798
法人税等の支払額	160,734	171,922
法人税等の還付額	-	72,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,469	121,902
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	39,270
有形固定資産の取得による支出	143,410	153,844
無形固定資産の取得による支出	89,462	4,451
資産除去債務の履行による支出	-	9,901
敷金及び保証金の差入による支出	36,336	21,611
敷金及び保証金の回収による収入	2,209	47,799
貸付金の回収による収入	1,086	133
その他	3,816	987
投資活動によるキャッシュ・フロー	269,729	182,135

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（は減少）	120,000	125,000
長期借入れによる収入	500,000	200,000
長期借入金の返済による支出	16,600	143,220
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,620	240
自己株式の処分による収入	-	1,590
自己株式の取得による支出	12	21,510
配当金の支払額	50,345	51,050
連結子会社設立に伴う少数株主からの払込による収入	5,000	10,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	559,661	128,750
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	484,402	188,983
現金及び現金同等物の期首残高	758,045	1,134,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,242,447	945,911

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結範囲の重要な変更

当第3四半期連結累計期間において、当社は、平成24年12月3日付で株式会社エフティコミュニケーションズと合併会社株式会社GFライテックを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結累計期間において、株式会社ネオ・コーポレーションの重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
現金及び預金勘定	1,242,447千円	945,911千円
現金及び現金同等物	1,242,447千円	945,911千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	50,535	30	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	51,158	30	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	グリーンハウス プロジェクト事業	ウォーターサーバー 事業	エネルギーコスト ソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,482,098	47,917	1,629,396	3,159,413
セグメント間の内部売上高又は振替高				
計	1,482,098	47,917	1,629,396	3,159,413
セグメント利益又は損失()	55,942	80,593	546,372	521,721

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	521,721
全社費用(注)	307,027
四半期連結損益計算書の営業利益	214,694

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

ウォーターサーバー事業において、プレミアムウォーター株式会社と事業譲渡契約を締結いたしました。なお、当該契約により、当第3四半期連結累計期間において、のれんが72,766千円発生しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	グリーンハウス プロジェクト事業	ウォーター サーバー事業	エネルギーコスト ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,194,381	467,821	1,188,521	3,850,725	4,714	3,855,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	2,194,381	467,821	1,188,521	3,850,725	4,714	3,855,439
セグメント利益又は損 失()	170,278	41,151	200,015	329,142	6,879	322,263

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当第3四半期連結累計期間に新たに開始したLED照明の販売によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	329,142
「その他」の区分の損失()	6,879
全社費用(注)	301,428
四半期連結損益計算書の営業利益	20,835

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	44円45銭	20円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	75,183	34,490
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	75,183	34,490
普通株式の期中平均株式数(株)	1,691,419	1,711,337
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	43円1銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	56,791	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要		

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するもの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

(1) 決算日後の状況

特記事項はありません。

(2) 訴訟

当社及び株式会社GRコンサルティングは、株式会社ネオインターナショナルから、電子プレーカーを販売する際に、顧客に対して誤認させるような表示による不正競争行為で損害を被ったとして、平成22年12月22日付けで、損害賠償金1億円の支払いを求める訴訟を提起されました。その後、平成24年8月22日付けで、損害賠償請求金額は3億円に引き上げられ、現在係争中であります。

当社及び株式会社GRコンサルティングとしては、株式会社ネオインターナショナルが主張している不正競争行為は存在していないと主張し争っていく所存であります。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月13日

株式会社 グリムス
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	都甲 孝一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	若尾 慎一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	木下 洋

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グリムスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グリムス及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。